

ミナト製薬 株式会社

天然の力をいただく 青汁、健康茶。

同じ青汁、健康茶でも、自社管理畑で原料栽培から手がける老舗企業がつくると成分や味ばかりでなく、色までも満足できる商品になる。

会社概要

ミナト製薬 株式会社

- 代表者：北崎登世美
- 創業：1888年
- 資本金：5000万円
- 業務内容：健康食品製造・販売
- 所在地：東京都中央区銀座1-14-11
- 連絡先：Tel. 03-3564-3710 / Fax. 03-3561-6064
http://www.minato-p.com/



北崎登世美 社長

古い言い伝えから 思わぬ有効成分を発見。

里には古くから「この草木が体によい」との言い伝えが残っている。一笑に付することもできようが、現代の科学的な分析で「昔の人はよくわかっていた」と感心するケースもある。

カワラケツメイもそんな一つだ。日当たりのよい原野や河原に群生し、黄色の小花をつけるマメ科の野草である。弘法大師が広めたと伝わることから「こうぼう茶」とか、「はま茶」「マメ茶」「ネム茶」などと呼ばれ、里の健康茶として親しまれてきた。

その成分に目をつけ、「カワラケツメイ茶」の商品化に成功したのがミナト製薬株式会社である。同社は明治21年の創業。当初は鼻病薬を世に送り出し、最近ではさまざまな草木から自然の力を抽出した青汁を追究している。社長の北崎登世美氏がカラワケツメイの隠された成分を説く。

「ポリフェノールをたくさん含む未知の成分が見つかりました。この成分は脂肪の吸収を抑える働きがあります。脂の多い食事の直前にカワラケツ

メイ茶を飲んでいただきたいですね」

未知の成分は同社が特許申請をし、「FCF」と名づけた。カワラケツメイの大量栽培までの道のりが困難だった。「多くを栽培しているところはありますがありませんでした。種を確保するのが一苦労、それが本場にカワラケツメイが確認するのがまた一苦労。似たような草がたくさんありますから。黄色の小花をつけて、やっどホッとできました」

量産化まで3年かかった。その苦労が実り、カワラケツメイ茶は同社の商品群の中で新しいエースとして大いに期待されている。

自社管理畑から生まれる 安心・安全の青汁。

青汁の原料となるカワラケツメイや桑、大麦若葉は熊本を中心に自社管理畑で栽培されている。畑の広さはあわせて東京ドーム20個分にもなる。

「青汁の会社は多いのですが、自社管理畑で原料からつくっているところは数社に限られます。自社で手がけるから材料の良し悪しがわかりますし、残留農薬の管理もしっかりできます」

広大な自社管理畑から安全・安心の



脂肪の吸収を抑える働きがある「カワラケツメイ茶」



手軽に楽しめる
ボトルタイプの「美緑」



糖質を気にする方におすすめの
まろやかな抹茶のような「減肥くわ青汁」

銀座のお店だけで飲める「銀座割り」



栃木県那須塩原市にある
那須工場。



原料は自社管理畑で
有機栽培されている。

青汁が生まれる。中でも「減肥くわ青汁」が一番のヒット作だ。

「桑の葉には糖やアルコールの吸収を抑える成分が含まれています」

味はまろやかな抹茶のよう。

「味だけでなく、きれいな緑色も追いつけています。桑を収穫する時期や作業方法にも気をつけて鮮やかな色を出しています。カワラケツメイは当初、満足できる緑色が出なかったのですが、まずお茶で製品化し、その後改良を重ね、青汁タイプと粒タイプを製品化しました」

大変な心遣いを感じるが、それは同社の商品開発の随所に見られる。たとえば銀座に限られたお店だけで飲める「銀座割り」。焼酎を桑青汁で割ったアルコール飲料だ。それに使う「銀座割りくわ青汁」は特別にカラーゲンを配合し成分が沈澱しにくくしている。また、どこでも手軽に青汁が楽しめるボトルタイプの「美緑」。外光を遮断するキャップ部分に粉末を収納し、キャップを回すと水と混ぜて桑青汁になる。鮮やかな緑色を保つ工夫だ。

120年以上の歴史が流れる老舗企業の商品開発は実にこまやかである。